

天草高校定時制

## 図書便り（10月号）

令和5年10月27日発行  
文責 原田

～短い秋～

秋を形容する言葉に、「釣瓶<sup>つるべ</sup>落とし」というものがあります。これは、太陽が傾いて夕焼け色となりそろそろ日が沈むんだなと思ったとき、夏でしたらなかなか太陽が沈まないのですが、秋はあっという間に太陽が沈んでしまうというもの。言い換えて、終わりが早いことを表す言葉でもあります。

さて、この号が皆さんの手元に届くときには10月下旬となっていることでしょう。そうすれば、2023年も残り2ヶ月。いろいろな経験<sup>つ</sup>を積んで、成長<sup>かて</sup>の糧<sup>かて</sup>にしてほしいと思います。



天定図書室の蔵書から今月のおすすめ本の紹介です。

『あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。』



しおみなつえ  
夕見夏衛（著）  
はるか みずかみこうし  
福原 遥、水上恒司主演  
映画（12月8日公開）の原作。70年前の日本にタイムスリップしてしまったゆりぐうぜん百合は偶然通りかかった彰に助けられ、大戦下の日本社会を生き抜く。しかし、あきら彰は特攻隊員として戦地に飛び立つ運命だった。ラストは感動の嵐！

『子どものためのアンガーマネジメント』

サマンサ・スノーデン（著）



「怒り」は時として自分ではコントロールできないことがあります。本書では「怒り」に大暴れさせないためのワザが、ワークシート形式でたくさん紹介されています。まずはやってみよう、と、挑戦<sup>ちょうせん</sup>してみてください。

『昭和二十年夏、女たちの戦争』



かけはし  
梯 久美子（著）  
第二次世界大戦。厳しい時代。それでも人生で最も美しい時があり、青春の輝きを求めた人がいる。筆者は、五人の女性に戦時下をどのように生き抜いたのかをインタビューした。ノンフィクション作品。

『5分後に妖しい異世界のラスト』



エブリスタ（編）  
小説投稿サイト「エブリスタ」に投稿された小説。短いながらも文章構成が工夫されていて、読み応え十分です。今回は妖しい異世界<sup>あや</sup>。現実世界とは別の舞台上<sup>く</sup>で繰り広げられる物語がおもしろい。

